

改定日 2019年11月20日

安全データシート

1. 製品名及び会社情報

製品の名前 : 釜戸長石一級デシスター掛け
会社名 : 丸昭釜戸鉱業協同組合
住所 : 岐阜県瑞浪市釜戸町1869番地

電話番号 : (0572) 63-2121
FAX番号 : (0572) 63-2021
緊急連絡先 : 丸昭釜戸鉱業協同組合
電話番号 : (0572) 63-2121
推奨用途及び使用上の制限 : 窯業原料

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 : 分類できない
健康に対する有害性 : 分類できない
環境に対する有害性 : 分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

: 警告
: 本品を粉塵として、長期又は反復暴露による呼吸器に障害を
起こすおそれがある。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 単一製品
化学名又は一般名 : 釜戸長石一級 (Na, K, Ca, Ba) (Si, Al)₂O_n
成分及び含有量

本製品は、アルカリ金属及びアルカリ土類金属などのアルミノケイ酸塩を主成分とする
三次元構造のテクトケイ酸塩の一種である。

元素分析に基づく成分は次のとおり。

| 化学名 | 化学式 | 濃度範囲 (%) |
|----------|--------------------------------|-----------|
| 二酸化ケイ素 | SiO ₂ | 70.0~78.0 |
| 酸化アルミニウム | Al ₂ O ₃ | 13.0~19.0 |
| 三酸化二鉄 | Fe ₂ O ₃ | ≤0.15 |
| 二酸化チタン | TiO ₂ | ≤0.05 |
| 酸化カルシウム | CaO | ≤1.00 |
| 酸化マグネシウム | MgO | ≤0.05 |
| 酸化カリウム | K ₂ O | 3.0~10.0 |
| 酸化ナトリウム | Na ₂ O | 2.0~9.0 |

4. 応急措置
- 吸入した場合 : 速やかに新鮮な空気のある場所へ移動し、うがいをする。
気分が悪い時は医師の診断を受ける。
 - 皮膚に付着した場合 : 流水で洗浄する。
 - 目に入った場合 : 速やかに清浄な水で洗眼する。目の刺激が続く場合には、
医師の診断を受ける。
 - 飲み込んだ場合 : 洗浄な水でよく洗浄する。可能であれば膈を喉に差し込んで
吐き出し、直ちに医師の手当てを受ける。
5. 火災時の措置
- 消火剤 : 不燃性にて該当せず。
 - 特有の消火方法 : 不燃性にて該当せず。
ただし、周辺火災に応じて、水、泡消火剤、粉末消火剤、二酸化
炭素を使用する。消火作業の際は、適切な保護具や耐火服を
着用する。
6. 漏出時の措置
- 人体に対する注意事項 : 作業に際して、粉じんが発生する場合には、状況に応じて適切な
保護具(手袋、保護メガネ、防塵マスク等)を着用する。
 - 保護具及び緊急措置 : 水に濡れると滑りやすくなるため、転倒などに注意する。
 - 二次災害の防止策 : 漏出処理作業を行う場合、飛散させないように掃き集め、又は
掃除機などで吸引して空容器に回収する。
 - : 濡らしてもよい場合は、粉じんの発生を防ぐために濡らしてから
回収する。回収した後は、漏洩した場所を水で洗い流す。
 - : 漏洩した製品や洗浄した排水が、河川や湖沼などに排出され、
環境へ悪影響を及ぼさないように注意する。
7. 取扱い及び保管上の注意
- 取扱い : 粉じんを吸入しないよう、保護マスクを着用する。
 - 保管 : 適当な換気のある倉庫で保管をする。また高温にも注意する。
8. ばく露防止及び保護措置
- 管理濃度 : 粉じん E = 3.0 mg/m³ (遊離けい酸を含有しない場合)
 - 許容濃度 : 2 mg/m³ (第3種粉じん、吸入性粉じん)
 - 日本産衛学会(2010年) : 数値なし
 - ACGIH TLV-TWA : 粉じんが発生する場合は、状況に応じ、適切な保護具(手袋、
保護メガネ、防塵マスク等)を着用する。
 - 設備対策 : 粉じんが発生するときは、空気汚染物質を管理濃度・許容濃度
以下に保つために換気装置を設置する。
- 保護具
- : 防塵マスク
 - : 保護手袋
9. 物理的及び化学的性質
- 外観等 : 白色粉末
 - 臭い : 無臭
 - 引火点 : 不燃性
 - 溶解性 : 不溶
10. 安定性及び反応性
- 安定性 : 通常の取扱いでは安定。
 - 危険有害反応可能性 : 特に無い
 - 避けるべき条件 : 粉じんの扱
 - 混触危険物質 : 特に無い

11. 有害性情報

刺激性(目、皮膚) : 特にない

特定標的臓器・全身毒性
(単回ばく露)
(単回ばく露反復ばく露)

: 粉じんを吸入すると、鼻、のどが刺激される。
: 粉じんを長期間吸入すると、じん肺症をおこす恐れがある。

12. 環境影響情報

分解性 : 分解しない
蓄積性 : データーなし
生体影響性 : データーなし

13. 廃棄上の注意

関係法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは
地方公共団体がその処理を行っている場合はそこに委託して
処理をする。

14. 輸送上の注意

国際規制 海上規制情報 : 該当しない
航空規制情報 : 該当しない
UN No. : 該当しない
容器等級 : 該当しない
特別の安全対策 : 輸送に際しては、水濡れのないように積み込み、荷崩れの
防止を確実に行う。
: 粉じんが発生しない方法で輸送する。
: 湿気、水濡れに注意する。

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法 : 該当しない
毒物及び劇物取締法 : 該当しない
労働安全衛生法 : 粉じん(傷害予防規定) : 粉じん作業
: 名称を通知すべき有害物(酸化アルミニウム、酸化カルシウム、
酸化鉄、酸化チタン(IV)) : 1%以上含まれる場合)
じん肺法 : 粉じん作業
作業環境測定法 : 特定粉じん作業
PRTR法 : 第一種・第二種特定化学物質には該当しません。
禁止物質、削減対象物質、抑制対象物質には該当しません。

16. その他の情報

引用文献

- 1) 日本産業衛生学会 (2009) 許容濃度等の勧告
- 2) ACGIH (2009) TLVs and BEIs

他

記載内容の取扱い

全ての資料や文献を調査したわけではない故、情報漏れがあるかもしれません。新しい
知見の発表や従来の説の訂正により、内容に追加や変更が生ずることがあります。
重要な決定などにご利用される場合は、改めて確かめられることをお願いたします。
又、データー数値は保証値ではありません。加えて注意事項は、通常的な取扱いを
対象にしたものですので、この点にご配慮をお願いします。